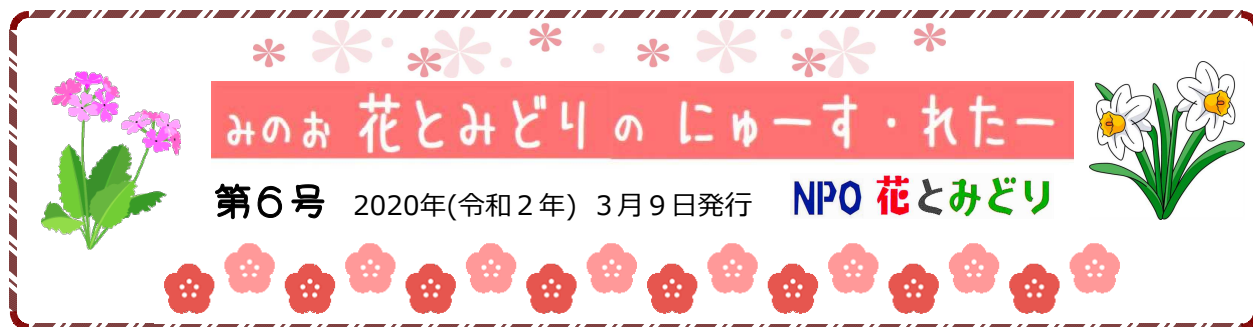




＊ 淡路島楽習バスツアー／30人がみどりの“癒やし”体験

秋の淡路島への“花とみどりの楽習バスツアー”が10／30に行われ、30人（女性22人&男性8人）が参加。

一行はまず「淡路景観園芸学校」を訪ね、園芸療法が専門の金子みどり先生から「ヒトがみどりに癒やしを感じるのは、（アフリカのサバンナで）進化する中で遺伝子に組み込まれたため・・・」などと園芸療法（園芸セラピー）のセオリーを聞き、次のそれを応用した園芸療法ガーデン（花壇）などを見学。

また、同校から見える近景～中景～遠景と続くみどりいっぱい**の景観**には、皆さん、心が洗われたようでした。



続いて、淡路島がお線香の生産日本一であることから生まれたテーマパーク「**パルシェ香りの館**」へ。石けん・お香といった香りの品づくりなどを体験（左写真）。

ツアーを主催した「NPO 花とみどり」は、今後は健康づくり・お花のアートなど活動を広げる方向で、このツアーはそのテスト。ツアーは、参加者からは概ね好評。でも昼食が名物料理でなかったなどやや大衆的でなかったことが反省点（定員の40人に達せず）。

＊ “花とみどりのマルシェ” がんばるも・・・今年度はやや空振り？

“花とみどりのマルシェ（市場）”は、昨秋からは①**NPOフェスタ**：10/27、かやの中央のさんぺい橋（花苗配布等）、②**山とみどりのフェスティバル**：11/3、箕面駅前（同）、③**おおさか都市緑化フェア**：11/16・17、万博公園（たねダンゴ）で開催。

但し、イオン店休業（①）、隣接イベント（ロハスフェスタ）との連携不足（③）、3月末の桜ヶ丘イベント（たねダンゴ）の中止（新型コロナウィルス）といずれも外的な要因ですが、来客低調でやや空振りに。

その中で、「NPO フェスタ」では、キューズモールの活性化などを目指し**ハロウィーン・パレード**を試行。昨年から1組増え親子2組の参加で、華やかに彩りを添えました。



↑ハロウィーン/キューズモールのマスコットと

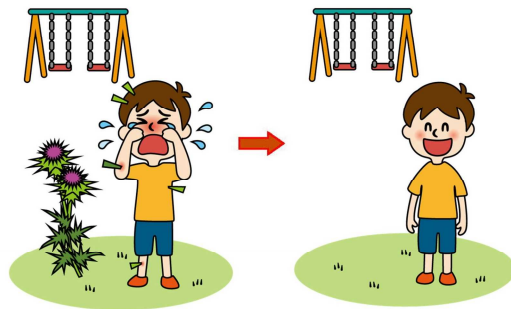
＊ 「友の会」会員など 増える！

箕面の花とみどりの活動をボランティアや資金で支える「**花とみどりの友の会**」（「NPO 花とみどり」）に今年度は既に**7人**（女性）が申し込まれ、会員総数24人に。いずれもバスツアー関連での加入。

さらに「**NPO花とみどり**」も、今年度は今までに**2会員**（個人会員:1、団体会員:1）が増えました。

❖ 外来オニアザミは「一年生草」など ～ 除去へ専門家から学ぶ

外来種で鋭いトゲだらけの「アメリカ・オニアザミ」を取り除き「ちびっ子に安全な街を目指そう！」
注射針のようなトゲに刺されて・・・ アメリカ・オニアザミ バイバイ！ と、市民らが「学習会」を開催（1/18。講師を含め 11 人参加。左のイラストはその「ちらし」から）。



専門家の大阪市立自然史博物館・学芸員の長谷川匡弘さんは、この外来オニアザミは「高さ約 1.5 m に生長し開花後は枯れる（一年生草（越冬を含め発芽～枯死までが 1 年未満）＝多年草ではない）」「除去では、開花頃以降に茎を地表スレスレで切れば根も枯れる（根は掘らなくてよい）」「秋～春には（タンポポのように水平に葉を広げ）ロゼット株になり根に栄養分を蓄積。この時期は根の掘削が必要」「タネは土中に埋もれ数年後に発芽することも（埋土種子。まいどしゅし。粘り強い除去の繰り返しが必要）」など、理論と実践とを結ぶ貴重な講演を行いました。

アメリカ・オニアザミのロゼット株 →



次に、みのお川を美しくする会副代表の大濱光央さんが、植木鉢でテスト栽培中の実物（ロゼット株）を手「活動を始めた昨春来、（市内各地で）ロゼット株を含め 100 株余を除去」などと報告。

主催の「外来植物アクション市民の会・箕面（仮称・準備中）」は、今春には「生きもの会議」「NPO 花とみどり」などの応援を受け正式にスタート、市と連携し市民に呼びかけさらに除去を広げる予定。

❖ 木戸が池緑地/スイセン+たねダンゴ+桜植樹 →じわじわ魅力アップ

かやの中央地区南端の「木戸が池緑地（公園）」では、市民による自主管理組織（NPO 花とみどりグループ「公園・緑地魅力アップ委員会」）が、草刈り機事故（車の窓ガラス破損）に伴う 1 年近くの間活動自粛の後、昨春から草刈り活動を復活（同委・市民草刈り隊が担当）。



↑ 到着した植樹用の桜の苗木

並行して池の外来魚を駆除、さらにスイセン植付け（一昨秋。約 40 株）+ “たねダンゴ” のテスト的植付け（昨秋。40 個）+ 桜の植樹（3/15 に 10 本予定。千里川桜回廊づくり＝「里山散策路をつくろう会」と連携）と、魅力アップ（同委・魅力アップチームが担当）をじわじわ進めています。

同委員会は、今後も草刈りを安全重視で慎重に進めるとともに、隣接の新鉄道駅オープンを約 3 年後に控え、市民に呼びかけ箕面の新玄関口の「木戸が池緑地」のさらなる魅力アップに取り組む予定。

❖ 新駅前の 積極的な緑花へ・・・キューズモール 2 階デッキ花壇

現在、進められている「みのおキューズモール（東急不動産経営）」のセンター棟（旧イオン店）の「リニューアル（再生）工事」に伴い、放置されていた 2 階デッキの細長い花壇などの積極的な緑花が行われます。センター棟と周辺は工事の後、4/25 頃にオープン。1 階は従来に準じた食品売り場（イオン店）、2 階は大型フード（飲食）コートなどのショッピング街へと大きく生まれ変わるプランです。

なお、昨秋に「NPO 花とみどり」へ上記の花壇緑花についての打診があり、同 NPO ではショッピング街としての華やかなお花畑風花壇や、親近感アップへの市民参加の花苗植え付けイベントなどを提案していましたが、1 月末に総合的にみて花壇管理は民間造園会社に委託したいとの返答がありました。

「NPO 花とみどり」としては事情を理解するとともに、市民的な懸案だった箕面の新玄関口の積極的な緑花を歓迎・期待すると伝えました。

工事が始まったキューズモール 2 階デッキの“花壇” →



【連絡先】NPO 花とみどり（NPO 法人花とみどりの街づくり・箕面）

〒562-0013 箕面市坊島4-5-20 市立みのお市民活動センター内

☎：090-4901-6693